

本校の使命	
校訓	自律・協同・創造
教育方針	主体的な姿勢と協調の精神をもって、常に新しい時代を切り拓き、豊かに生きていこうとする姿勢を育む。
教育目標	1. 自己の目標に向かう上で、自己を律することができる力を育てる。 2. 自己の役割を考えた上で、協調・協力することができる態度を育てる。 3. 自己の実現を目指す上で、豊かな生き方へと創意工夫する態度を育てる。



自己評価算出方法

①各学校評価実施項目ごとに教職員・生徒・保護者アンケート結果によりそれぞれ評価値平均を算出

②①で算出した平均を評価項目ごとに平均し総平均とする

③総平均値が3.2以上→A、3.0以上→B、2.8以上→C、2.8未満→D

4段階評価 4…強く思う・よく当てはまる 3…そう思う・ある程度当てはまる 2…あまりそう思わない・あまり当てはまらない 1…全くそう思わない・まったく当てはまらない

※【評価】 A…良い B…まあ良い C…あまり良くない D…良くない

目指す学校像	◎地域から信頼される、魅力と活力のある学校づくりの推進
	1 一人一人の生徒を大切にす支援体制の充実
	2 生徒の主体性を育む教育活動の推進
	3 生徒の学びの質を高めるための授業改善の推進
育てたい生徒像	1 自他の人権を尊重し、差別をなくす実践力のある生徒。
	2 自己管理ができ、諸活動に対して主体的に取り組む生徒。
	3 「生きる力」となる学力を身に付け、たくましく自己実現を目指す生徒。
	4 社会の一員であることを自覚し、よりよい社会の実現のために貢献する生徒。
目指す教職員集団像	1 ひとりひとり意欲的に ～前例に固執せず、アイデアを出そう
	2 楽天的に ～失敗を恐れず、何かの際にはチームで共有
	3 たのしく、元気に、～楽しみながら、自らを高めよう

重点指導目標	評価番号	学校評価実施項目	目標達成のための方策	分掌	自己評価 関連アンケート番号										自己評価 概評と改善策	学校関係者評価	
					教職員		平均	生徒		平均	保護者		平均	総平均			
1 自律の精神の育成 ・家庭学習時間の確保を軸として、基本的な生活習慣・学習習慣の確立を推進する。	①	自律的行動と礼節ある態度の育成	言葉遣いや立ち振る舞い、挨拶や身だしなみの指導	生徒学年	13 (2.9)	34 (3.3)	38 (3.3)	42 (3.4)	3.2	8 (3.3)	3.3	6 (3.0)	3.0	3.1 B	3.2 A ・全教職員が共通理解のもとで声をかけていく体制を構築するとともに、生徒自身が主体的に考える場を設けたい。 ・「情報モラル講座」を次年度は1学期に実施し、より効果的なものとしたい。 ・スケジュール管理については、今後も折に触れて指導し、家庭学習につなげていきたい。 ・保健だよりのメール配信を検討したい。 ・日々の状況把握や情報共有により早期に対応することができた。	・将来に向け、見通しを持って行動できるよう、自主的にスケジュール管理ができるよう指導してほしい。 ・情報過多で、何をしたらよいかわからない生徒が多い。個別に関わることで中長期の目標を立てさせ、家庭学習時間の増加につなげてほしい。 ・図書館等の利用など、校内外での放課後の学習場所が確保できているとよい。	
	②	マナーやモラルの向上	・携帯電話やインターネット利用法の指導 ・外部の協力を得て、街頭指導や自転車点検を行い、交通ルール遵守の徹底を図る	生徒		16 (3.1)	17 (3.2)		3.2	11 (3.3)	3.3			3.3 A			
	③	基本的学習習慣の確立と家庭学習習慣の定着	・手帳「大夢」を日常的に活用させ、自己管理を行わせる。また、自己実現に向けての到達目標を設定させ学習に対する意識を高め、主体的に学習に取り組む姿勢を身につけさせる ・学年会、教科会との連携を密にする	学年教務	10 (2.6)	32 (3.1)	36 (2.8)	40 (3.1)	2.9	2 (2.5)	2.5			2.7 D			
	④	健康の維持増進と安全管理体制の確立	・保健便りを定期的に発行する ・心身両面の健康状態の把握に努め、保護者・担任・学校医との連携を図る ・校内の緊急連絡体制を確立するとともに計画的に安全点検を実施する	保健		23 (3.6)	26 (3.5)		3.6	15 (3.3)	3.3	7 (2.9)	2.9	3.3 A			
	⑤	生徒支援の充実	・支援を必要とする生徒について、担任・保護者・保健室・他機関との連絡を密にし、早期対応に努める ・特性や困難に応じた合理的配慮を拡充するとともに学習に取り組みややすい環境を整備する	保健			24 (3.6)		3.6					3.6 A			
2 協働・協同の態度の育成 ・個の目標と集団の目標、地域の願いをリンクさせ、ともに努力する体制を整える。	⑥	各種行事・式典の充実	・しほ教育の日に合わせて行事の充実を図る ・式典や学校行事や諸会議など、全教職員の協力体制を築きながら効果的な運営に努める	総務		1 (3.7)	6 (3.5)		3.6					3.6 A	3.5 A ・来年度は、110周年記念事業の予定であるが、以降の行事について検討していきたい。 ・いじめの早期発見、早期対応に組織的な協力体制のもと取り組むことができた。 ・学園祭等の生徒主体の活動に対して、適切な支援により生徒の創意工夫を促すことができた。 ・熱心に掃除ができた。監督場所を工夫し、さらに校内美化に努めたい。	・学校でしかできない集団での活動を充実させることで、高校の魅力をさらに高めて、選ばれる平田高校を目指してほしい。 ・校内での目線合わせをしっかりとすうえで、生徒への伴走・支援を行っていただきたい。 ・SNSによる情報発信でのトラブルがおきないよう、早めに情報モラルについて指導してほしい。	
	⑦	いじめ防止	・いじめ防止と実態把握に努め、問題があれば組織的かつ速やかに対応する	生徒		18 (3.5)			3.5					3.5 A			
	⑧	自分が果たすべき役割意識と望ましい人間関係の形成	・諸活動に参加させ集団や社会に貢献しようとする意識と態度を育成する ・学校行事や部活動等における集団活動を支援する	学年生徒	14 (3.4)	39 (3.4)			3.4	9 (3.5)	3.5			3.5 A			
	⑨	自他の人権が尊重される学校人権意識の育成	・相手を思いやる発言や態度を心がけさせ、互いに認め合い高め合う人間性を育てる ・生徒の人権意識について実態把握に努め、学校生活のあらゆる機会をとらえて人権教育の推進を図る	学年図書		31 (3.5)			3.5	13 (3.4)	3.4			3.5 A			
	⑩	学校内外での活動の活性化	・生徒会や委員会活動など生徒の主体的活動を支援する ・地域でのボランティア活動など課外活動への参加を奨励し、環境を整える	生徒図書		15 (3.5)	30 (3.3)		3.4	10 (3.4)	3.4			3.4 A			
	⑪	環境衛生・美化の推進	・保健委員・全教職員の協力により美化意識の高揚に努める ・時間いっぱい清掃に取り組ませる	保健学年		25 (3.4)			3.4	16 (3.5)	3.5			3.5 A			
3 「豊かに生きる力」につながる学力の育成 ・地域協働学習を通して、現状把握に必要なリテラシーを育成し、生徒自身で未来をデザインする力を育成する。	⑫	地域協働学習の充実	・地域協働学習の一層の充実を図り、学びを社会に生かそうとする態度を養う ・総合的な探究の時間を軸とした探究的な学びを推進する	教務図書		29 (3.3)			3.3	7 (3.4)	3.4	4 (3.2)	3.2	3.3 A	3.3 A ・出雲市やコミュニティーセンター等外部との協働活動が増え、より地域と連携した探究的な学びを深めることができた。 ・授業アンケート、公開授業は引き続き実施し、授業力向上につなげたい。 ・補習、個別指導の実施方法を見直し、効果的に実施できた。来年度は、AIを導入し、さらに個に応じた進路指導に取り組んでいきたい。 ・今年度は職業紹介職業紹介説明を新規実施し、情報提供を充実できた。来年度は、研修旅行をより生徒が主体的に取り組む活動になるよう変更を検討する。 ・書物に対する関心や姿勢に変化は見られるので、今後も図書館に関心を持てるような工夫を継続したい。 ・さくら連絡網、ホームページを活用して広報に努めているが、まだ十分とは言えない。奨学金等の周知について改善を図ってきたい。	・読書量が不足しており、読解力や文章力の低下がみられる。また、辞書を利用せず、インターネットで調べることが多い。このためか、語彙が定着していない。図書館の利用を促進し、紙に触れる機会を増やし、本の良さを発信してほしい。 ・AIを利用する力も大切であるが、AIに頼らず、自ら考えて書く力も重要である。プレゼンテーションなど異なる表現をさせるなどのAI対策も検討するとよいのではないかと。	
	⑬	学力の向上と充実	・家庭学習への支援 ・公開授業と生徒による授業アンケートの実施 ・教科主任会、教科会、学年会等に情報提供を積極的に行い、緊密に連携をとり、学力の定着・向上のための方策を検討し、実践する ・各学年会での学力分析会、進路検討会を充実させ教員間で共通理解を図る ・模試、補習、小論文指導、面接指導、個別学習指導等を効果的に実施する	教務進路	8 (2.9)	9 (3.2)	11 (3.2)		3.3	1 (3.1)	2 (2.5)	1 (3.0)	3.0	3.1 B			
	⑭	3年間を見通したキャリア教育の充実	・魅力ある教育課程の編成を行う ・早期の進路目標の確立を促し、その実現に向け、2年生の研修旅行を充実させるとともに、看護体験等様々な教育活動を支援する ・地域の企業や上級学校の見学、大学生や社会人の体験談を聞く機会を設ける ・進路講演会、進路資料などを通じて的確な進路情報を提供する ・個人面談等を通じて、生徒理解に努め、きめ細かい個に応じた進路指導を実施する	教務進路学年	22 (3.6)	35 (3.4)	43 (3.5)		3.5	4 (3.2)	6 (3.4)	2 (3.0)	3 (3.0)	3.0			3.3 A
	⑮	図書館利用の促進	・図書館を活用した学びの支援を図る ・校内ビブリオバトル大会、生徒図書委員会、読書指導、広報活動等を通して生徒の読書意欲の高揚を図る	図書		27 (3.3)			3.3	12 (3.3)	3.3						3.3 A
	⑯	地域・保護者と連携した学習体制の充実	・HPの充実、Instagramの活用、PTA通信や平高通信の発行により地域や保護者の学校理解を深める ・PTA主催行事の内容充実を図り、会員参加率の向上を図る ・各種奨学金制度に基づく生徒の学習支援体制を充実させる	図書総務	2 (3.3)	3 (3.6)	4 (3.7)	5 (3.7)	3.6	14 (3.4)	3.4	5 (2.9)	8 (3.0)	9 (2.9)			10 (3.1)
	⑰	ICT機器活用の推進	・校内LAN、ICT機器等の保守管理に努め、教員個々のニーズに応える。また、生徒の授業におけるICT機器の利用促進を図る	図書		28 (3.3)			3.3						3.3 A		